進路室より

最初は違和感があった「コロナ禍」や「オミクロン株」という言葉も耳に馴染んでしまいました。今年度は面接・小論文・入試問題の内容にも「コロナ禍」の影響が現れていると感じました。昨年に引き続き多くの場面・場所で様々な対応を求められた令和三年度も、まもなく終わろうとしています。保護者の皆様には、進路支援部の活動に対して物心両面からご支援いただき、誠にありがとうございました。この紙面をお借りして、心より感謝申し上げます。

年度末を迎えるに当たり、進路支援部から保護者の皆様、生徒の皆さんにお伝えしたいことを、学年別に述べさせていただきます。

三年生の保護者の皆様、そして生徒の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業後は、職場はもちろん、大学や専門学校でも、多くのことを自己責任で行わなければならなくなります。高校までのように、担任や周囲の先生方が手厚く指導してくれることは、ほぼありません。手続きを知らなかった、忘れていたということにならないように、しっかりと情報を集め、早めに行動するようにしてください。これから進む進路は様々ですが、この唐津西高校で学んだこと、体験したことを忘れずに、より大きな社会で活躍されることを期待しています。臨機応変な対応が求められる中で、前向きにチャレンジを続け、本当に素晴らしい結果を残してくれました。自信を持って羽ばたいてください。

次に二年生ですが、迎える新年度は、長い人生の中における重大な選択と挑戦を迫られる年になります。進路目標についてご家庭で相談され、目標達成のための努力を少しでも早く始めることをお勧めします。進路支援部には、様々な学校や就職先の情報がありますので、お悩みの際は遠慮なくご相談ください。新しい入試制度が落ち着くまでには数年かかると言われていますので、共通テストについては来年度も見直される部分が多くあるかもしれません。これ以上量が増えたり、難化したりしないことを祈るばかりです。今後も新しい情報を集め続けることが大切です。こちらからも、こまめな情報提供を心がけていきたいと思います。

最後に一年生。新年度は俗に、「中だるみの学年」などと言われる二年生になります。しかし、逆にこの一年間を充実させることができれば、三年生になった時に目標に手が届きやすくなる、とも言えるのではないでしょうか。今年度の結果からも、より早く目標を定め、粘り強く努力を続けた生徒が夢をつかんでいると言えます。もう一度生活状況や学習状況を振り返り、目標に向けてできるだけ早く動き出すことをお勧めします。ぜひご家庭でも、進路について相談する機会をお持ちください。

進路希望調査によりますと、一年生、二年生共に最も多いのが「四年制大学への進学」希望者です。我々職員も、生徒の皆さんの目標を達成するために、十分に支援をしてまいります。しかし、その目標を達成するためには、やはり学力が必要であり、学力を身につけるためには家庭学習の継続が必要です。そのためには、保護者の皆様のご協力が不可欠です。来年度も進路支援部の活動に、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1．合格者数（令和４年１月末日現在）

【大　学】
国公立大　１８名
佐賀大学　９名　九州工業大学　１名　島根大学　３名
鳥取大学　１名　愛媛大学　１名　宮崎大学　１名
鹿児島大学　１名　北九州市立大学　１名

私立大　４２名
福岡大学　４名　西南学院大学　６名
中村学園大学　４名　福岡工業大学　３名
福岡国際医療福祉大学　２名　九州産業大学　３名
東京工芸大学　１名　純真学園大学　２名
久留米大学　１名　西九州大学　５名　など

【短　大】　７名
中村学園大学短期大学部　１名　福岡こども短期大学　２名
九州産業大学造形短期大学　１名　純真短期大学　１名　など

【専門学校】　２７名
佐賀県医療センター好生館看護学院　１名
嬉野医療センター付属看護学校　１名
福岡市医師会看護専門学校　１名
産業技術学院　２名
武雄看護リハビリテーション学校　１名　など

【公務員・就職】　１３名
税務九州　１名　佐賀県庁　１名　唐津市役所　２名
航空自衛隊　１名　佐賀県警　１名　京都府警　２名
宇佐市役所　１名　唐津生コンクリート　１名
久留米運送　１名　佐賀玄海漁業協同組合　１名
済生会唐津病院　１名

2．国公立大学受験予定者

【共通テスト】１３１名　受験（１月15日・１月16日）
【国公立大二次出願予定者】
前期試験　１７名
山口大学　１名　佐賀大学　５名　島根大学　１名
福岡教育大学　１名　秋田県立大学　１名　福井県立大学　１名
島根県立大学　２名　高知工科大学　１名　大分県立看護科学大学　１名
長崎県立大学　１名　福岡県立大学　１名　宮崎公立大学　１名

中・後期試験　１７名
山口大学　１名　佐賀大学　５名　島根大学　１名　大分大学　１名
長崎大学　１名　下関市立大学　２名　秋田県立大学　１名
長崎県立大学　１名　福岡県立大学　１名　高知工科大学　１名
大分県立看護科学大学　１名　宮崎公立大学　１名

3．1・2年生の現状（県下一斉模試の1500番以内の数）

	1年4月	1年8月	1年1月	2年8月	2年1月
1 年 生	17	40	36	—	—
2 年 生	12	10	19	31	30

「ハナコフェア」

振興会副会長　濱道正和

十月十四日(木)、唐津西校体育館において約一時間、「命の授業」～ドリー夢メーカーと今を生きる～と題した講演会が行われました。

一九三一年、前身の旧制唐津女学校に在籍した中尾ハナさんが、自らの命と引き替えに松浦川で溺れていた小学生二人を救ったことを語り継ごうと、二〇〇〇年から「ハナコフェア」という講演会が開催され、現在も続いています。

今年度の「ハナコフェア」は、コロナ禍において本当に久しぶりの全校生徒での催しとなりました。

講話は、神奈川県の元中学校体育教諭の腰塚勇人さん(56)が約二十年前、スキー中に後頭部から転落して全身麻痺になり過酷なリハビリを経て自力で歩けるようになったという話でした。冒頭に紹介した演題にもあるように「ドリー夢メーカー＝愛と勇気を与え絶望を希望にかえてくれる人」の存在に気づき、家族や看護士など、さまざまな人のやさしさに触れ、「このまま下を向いていてはいけない。これからは大事な命の使い方をどうするか考えた。」とおっしゃっていました。自分にとってのドリー夢メーカーは誰なのか。家族？先生？友達？皆さんにも誰かしらそういう存在の人がいらっしゃると思います。今後大切なことは自分が誰かのドリー夢メーカーになれるように幸動を起こすことです。生徒だけではなく保護者や先生方にとっても改めて自分はどうなのか考えさせられる良い講話だったのではないでしょうか。

挨拶運動

十一月十日(水)・十一日(木)の両日、振興会役員・常任委員、職員、生徒会による挨拶運動が実施されました。一日目は雹(ヒョウ)が降るなど二日間とも天候には恵まれませんでしたが、多くの役員・常任委員（一日目八名・二日目十四名）が参加され、荒天の合間をみて生徒達と元気な挨拶が交わされました。

3年生激励会

十二月二十四日(金)終業式終了後、三年生激励会が行われました。昨年度はコロナ禍でリモートでの開催となりましたが、今年度は二年ぶりに三年生が体育館に揃いました。川上会長の「激励のことば」のあと「紅白のけえらん」がクラス代表に贈呈され、各クラスの代表が謝辞を述べ決意を新たにしました。

唐津西高校バレーボール部
令和３年度 善行児童生徒表彰(県教育長表彰)受賞

本校バレーボール部では、毎朝始業前に登校坂や校庭の清掃活動を行っています。15年以上にわたり継続して行っているこの奉仕活動が評価され、平成29年に続き善行児童生徒表彰を受賞いたしました。

近年は部員数が少なくなり、少人数で広い校庭の清掃を行っています。特に秋から冬にかけての落ち葉の清掃は大変ですが、労を惜しまず活動してくれています。練習以外にこうした活動を行うことで、チームの一体感も増し、人間的にも成長する一助となっているのであれば幸いです。

日々の部活動では、大きな声を出して懸命に練習に取り組んでいます。練習時間は短いのですが、県大会では持ち前の粘り強さを発揮し、二回戦へ進むくらいの実力を付けてきました。

今回このような賞をいただき改めて感謝申し上げます。今回の受賞を励みとして、これからもますます充実した部活動にしていきたいと思います。

（バレーボール部　顧問　田中耕介）